

<b>1 建物概要</b>		BEE	2.0	A	★★★★★
建物名称	イオンモール京都桂川	使用CASBEE評価マニュアル CASBEE京都-新築(2011年版)			
延床面積	200,754 m <sup>2</sup>	使用CASBEE評価ソフト CASBEE京都-新築2011(v.1.2)			
用途	物販店、飲食店、集会所				

<b>2 重点項目への取組度</b>	
キーワード	取組度
1 大切に使う	
2 とともに住まう	
3 自然からつくる	

### 3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

<b>1 大切に使う</b>		合計点	31 / 43
■長寿命化		合計点	17 / 20
◇メンテナンスの容易性		◇物理的長寿命	
Q2/ 3.3.1 空調配管の更新性	スコア 3	Q2/ 2.2.1 躯体材料の耐用年数	スコア 3
Q2/ 3.3.2 給排水管の更新性	スコア 4	<自由記述>	
Q2/ 3.3.3 電気配線の更新性	スコア 3	耐用年数10年以上~20年未満	
Q2/ 3.3.4 通信配線の更新性	スコア 3	◇社会的長寿命	
Q2/ 3.3.5 設備機器の更新性	スコア 5	Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア 5
(注)上記5項目のスコアの平均が合計点に加算される)		Q2/ 3.1.2 空間の形状・自由さ	スコア 5
<自由記述>		<自由記述>	
耐震壁の外周配置、余裕ある天井裏スペース、設備機器は駐車場に面し配置		バリアフリー認定を取得、耐震壁の外周配置	
■省資源		合計点	14 / 20
LR2/ 2.1 材料使用量の削減	スコア 2	LR2/ 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	スコア 3
LR2/ 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	スコア 3	LR2/ 2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	スコア 5
LR2/ 2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	スコア 5	LR2/ 2.6 部材の再利用可能性向上への取組	スコア 4
LR2/ 2.6 部材の再利用可能性向上への取組	スコア 4	<自由記述>	
<自由記述>		再生木デッキの仕様、躯体+鉄筋+仕上が主たる構成	
◇独自加点項目		合計点	0 / 3
LR2/ 2.1 材料使用量の削減	「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している。		
LR2/ 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している。		
LR2/ 2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している。		
<b>2 とともに住まう</b>		合計点	29 / 42
■自然とともに住まう		合計点	11 / 15
◇自然を感じられる計画		■地域とともに住まう	
Q2/ 1.2.1 広さ感・景観	スコア 5	◇地域環境やコミュニティへの配慮	
Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア 3	Q3/ 3.1 地域性への配慮、快適性の向上	スコア 4
Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア 3	LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア 3
<自由記述>		LR3/ 3.3.2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	スコア 3
モール状の吹抜空間、室外機、煙道排熱は屋上(10m以上)で排熱		<自由記述>	
■歴史とともに住まう		イベント広場・芝生遊び場の設置	
◇歴史性への配慮		合計点	7 / 10
Q2/ 1.2.3 内装計画	スコア 3	◇独自加点項目	
Q3/ 3.1 地域性への配慮、快適性の向上	スコア 4	合計点	1 / 2
<自由記述>		Q2/ 1.2.1 広さ感・景観	京都重点項目による加点により、レベル5を超える。
イベント広場・芝生遊び場の設置		LR3/ 3.3.2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	格子状ルーバーや簾状スクリーンによりガラス面等の反射光を抑制している、または外壁に反射率の低い自然素材を採用している等の推奨内容の取組みを、1以上実施している。
<b>3 自然からつくる</b>		合計点	24 / 37
■自然材料の利用		合計点	9 / 15
Q2/ 1.2.3 内装計画	スコア 3	Q3/ 3.1 地域性への配慮、快適性の向上	スコア 4
Q3/ 3.1 地域性への配慮、快適性の向上	スコア 4	LR2/ 2.5 持続可能な森林から産出された木材	スコア 2
LR2/ 2.5 持続可能な森林から産出された木材	スコア 2	<自由記述>	
<自由記述>		イベント広場・芝生遊び場の設置	
■自然環境の利用		合計点	15 / 20
Q1/ 3.1.1 屋光率	スコア 対象外	LR1/ 2.1 自然エネルギーの直接利用	スコア 4
Q1/ 3.1.3 屋光利用設備	スコア 3	LR1/ 2.2 自然エネルギーの変換利用	スコア 5
Q1/ 3.2.2 屋光制御	スコア 対象外	LR2/ 1.2.1 雨水利用システム	スコア 3
Q1/ 4.2.2 自然換気性能	スコア 対象外	<自由記述>	
<自由記述>		屋根からの太陽光取得、太陽光パネル460KW	
◇独自加点項目		合計点	0 / 2
LR2/ 2.5 持続可能な森林から産出された:	「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している。		
Q1/ 3.1.3 屋光利用設備	デザインされた格子状ルーバーやライトシェルフ、軒、庇等、推奨内容の屋光利用設備を採用している。		
Q1/ 3.2.2 屋光制御	デザインされた格子状ルーバーやライトシェルフ、軒、庇等、推奨内容の屋光利用設備を採用している。		対象外
<b>4 低炭素景観の創出に関する評価</b>		低炭素景観 取組数	3 / 6項目
<input checked="" type="checkbox"/> Q1/3.1.3 屋光利用設備	<input type="checkbox"/> Q1/3.2.2 屋光制御	<input checked="" type="checkbox"/> Q3/1 生物環境の保全と創出	
<input checked="" type="checkbox"/> Q3/3.2 敷地内温熱環境の向上	<input checked="" type="checkbox"/> LR3/2.2 温熱環境悪化の改善	<input type="checkbox"/> LR3/3.3.2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	
<b>5 ライフサイクルCO<sub>2</sub>とCO<sub>2</sub>削減率</b>		ライフサイクルCO <sub>2</sub> 削減率	+42.1%
ライフサイクルCO <sub>2</sub> (ライフサイクルCO <sub>2</sub> 参照値)	85.84 kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>	ライフサイクルCO <sub>2</sub> 削減率	+42.1%
CO <sub>2</sub> 削減量	148.23 kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>		
	-62.39 kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>		
<b>6 ウッドマイレージCO<sub>2</sub>とCO<sub>2</sub>削減率</b>		ウッドマイレージCO <sub>2</sub> 削減率	0%
ウッドマイレージCO <sub>2</sub>	0 kg-CO <sub>2</sub>	ウッドマイレージCO <sub>2</sub> 削減率	0%
CO <sub>2</sub> 削減効果	0 kg-CO <sub>2</sub>		

□ :「CASBEE京都-新築(標準システム)」から転記 □ :「ウッドマイレージ計算書」から転記 □ :自由記述入力欄  
 (「4低炭素景観の創出に関する評価」については該当するチェックボックスにチェック)